

資料4 形式例②（音楽）

第〇学年〇組 音楽科学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

領域（分野）

- 1 題材名 (例) 〇〇を〇〇しよう
教材名 「曲 名」(〇〇) 作詞・作曲

♪ 題材名は、学習内容と活動が児童・生徒にはっきりとイメージできるように記述しましょう。

2 題材について

【本題材で扱う学習指導要領の内容】

(例) A 表現 (1) 歌唱 ア
イ (ア)
ウ (ア)

〔共通事項〕 (1) ア 音色、リズム
イ スタッカート

♪ 「A 表現」の指導については、
ア(思考力、判断力、表現力等)、イ(知識)及び
ウ(技能)の各事項を、
「B 鑑賞」の指導については、
ア(思考力、判断力、表現力等)、イ(知識)の
各事項を適切に関連させて指導します。

♪ 本題材において、思考・判断のよりどころとなる
主な音楽を形づくっている要素を絞り、
記述します。

♪ 扱う場合のみ。
取り扱う用語や記号を記述します。

(1) 題材の目標

- (知識及び技能)
- (思考力、判断力、表現力等)
- (学びに向かう力、人間性等)

♪ この題材を通して身に付けさせたい力を具体的に記述しましょう。
♪ 資質・能力別に箇条書きしたり、題材で育てる力を総合的に捉えて述べたりしましょう。
♪ 文末は、児童・生徒の立場での表現（「～する。」）で記述しましょう。

(2) 題材観（題材設定の理由）

♪ 本題材のもつ価値や内容、意図するところを明確にしましょう。

(3) 児童（生徒）の実態（〇〇名）

- ♪ 本題材で扱う内容や身に付けさせたい力に関する現在の実態（既習の状況や意識調査、能力調査の結果など）を、分析的に記述しましょう。
- ♪ 実態を踏まえ、この題材による活動を通して育てたい児童・生徒の姿について述べましょう。

(4) 指導観

- ♪ 実態等を受けて、題材の目標で示した力を育成するために、どのような指導や支援の手立てをとるか（指導の工夫）を具体的に述べましょう。（このような場面で、このような方法で、など）
- ♪ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた視点も記載しましょう。
- ♪ 扱う教材についての分析（教材観）等について、なぜこの教材をこの題材で取り上げたのかを記述しましょう。（5）のように項目立てして記述する場合も。

♪ 国立教育政策研究所『『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料』を参考に、題材の目標を実現する学習活動に合わせて作成しましょう。

3 題材の評価規準

知識・技能 知 技	思考・判断・表現 思	主体的に学習に取り組む態度 態
① 知 ～している。	思 ① ～している。	態 ① ～している。
② 技 ～技能を身に付けて～している。	思 ② ♪ 指導事項の各ア及び評価規準の設定例から各題材に合わせて設定。	♪ 目標（3）及び評価規準の設定例から各題材に合わせて設定。
③ 知技 ～とともに、～技能を身に付けて～している。	♪ A 表現領域は、「知識」と「技能」とに分けて設定することが原則。関連性の高い場合、 知技 として一体的に評価することも可。B 鑑賞領域は、「知識」のみ記載。	

4 指導計画及び評価計画（○時間扱い）

※ 丸数字…全員の学習状況を記録に残す場面

次	時	◎ねらい　○主な学習内容　・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素，用語や記号など〕	○教師の働きかけ	評価規準 (評価方法)		
				知・技	思	態
第一次	◎　リズムを感じ取りながら，～する。					
	1	○「○○」の主旋律をつかむ。 ・教師の範唱を聴く。 ・ ○ ・ ☆〔音色，リズム，旋律〕	○	↓ ①知 (発言・記述)	↓ ①(発言・記述)	↓ ①(観察・記述・聴取)
	2 本時	○ ・ ・ ☆〔　　〕	○			
◎						
第二次	3	○ ・ ☆〔　　〕	○	③知技 (聴取・発言・記述)	↓ ②(発言・記述・聴取)	↓ ①(観察・記述・聴取)
	4	○ ・ ・ ○ ・ ・ ☆〔　　〕	○			

♪ 矢印↓は継続的に観察することを示し、□印は全員の学習状況を記録に残す場面を示します。

♪ 「3 評価規準」との整合性を図りましょう。

5 本時の指導（○／○）

（１）目標 （例）○○する。 ♪ 題材の目標に沿って、ねらいを絞って記述しましょう。

（２）展開

時配 (形態)	○学習内容・学習活動 ☆〔音楽を形づくっている要素〕	○教師の働きかけ	評価規準		
			知・技	思	態
5分 (一斉)	○ ・ ○本時のめあてをつかむ。 ◎	○			
10分 (個)	○ ・ ・	○			
15分 (グループ)	○ ・ ・ ☆〔音色, リズム〕	○			
10分 (一斉)	○ ・ ☆〔音色, リズム〕	○			
5分 (個)	○	○			

♪「4 指導計画及び
評価計画」との整合
性を図りましょう。

①（発言・記述）

②技
(聴取)

♪ 以下に（３）（４）…等として、板書計画や学習状況例等を記載するとよいです。

（３）板書計画

（４）本時の評価と教師の働きかけ

<思考・判断・表現①の評価場面（発言の内容及びワークシートの記述）>

Aと判断される児童 生徒の学習状況	
Cと判断されそうな 児童生徒への働きかけ	